

2012.05.09

マザー・テレジア・ゲルハルディンガーの祝日によせて

5月9日は、ノートルダム創立者 マザー・テレジア・ゲルハルディンガーの祝日です。この日は、マザー・テレジアが、1879年、神様から与えられた使命を全うし、天国に凱旋された日で、全世界・・・発祥の地、ドイツで、南北アメリカで、アフリカで、アジアではネパールで・・・三十数か国に散らばるノートルダムファミリーが、マザーを慕ってお祝いしております。

毎年、5月9日頃、ノートルダムでは、3校合同研修会を行っております。小学校、中学・高等学校、大学の教職員が、年に1度、一堂に会して、ノートルダム教育を振り返り 分かち合う研修会です。

ノートルダム三校では、京都で学校創立以来、キリスト教精神による「徳と知」をモットーとする全人教育を目指して教育活動を行ってまいりました。現在、私学をめぐる社会環境は、50～60年前と比べて、大変な変貌を呈しておりますが、社会のニーズに適応しつつ、根本的には、マザーテレジアから受け継いだ建学の精神の生き生きと感じられる教育の場を提供することこそが、他の学校にはない、ノートルダムの魅力であり、社会への貢献であると確信しております。

本年の研修会は、5月12日、<「徳と知」の見える化>をテーマに開催されます。この機会を生かして、建学の精神を再確認し、日常の教育活動において、「徳と知」をどのように可視化しているかについて、互いに刺激しあい、アイデアを提供しあうことによって、ノートルダム教育の魅力をより鮮明に世に打ち出せますよう計画しております。

児童・生徒・学生の 知的成長と共に人格形成を重視し、教育者は、自分自身の生き方で教育するはずだと強調されたマザーテレジアが、この日、教育を使命とする私たちが、「徳と知」の理想を目指して生きる者として 研鑽を積み、教育活動に反映してまいりますよう、神のみ前で取り次ぎ、豊かな祝福と、恵みを願ってくださいますように。



和田 環